



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月5日

上場会社名 あすか製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4514 URL <http://www.aska-pharma.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 千葉 公 TEL 03-5484-8366
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	20,138	0.7	637	48.1	772	39.1	740	780.1
24年3月期第2四半期	19,990	△8.4	430	△28.3	555	△18.4	84	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 632百万円 (537.7%) 24年3月期第2四半期 99百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	26.81	—
24年3月期第2四半期	2.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	50,136	32,295	64.4
24年3月期	49,326	31,818	64.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 32,283百万円 24年3月期 31,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	7.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,700	2.6	1,100	17.5	1,400	14.3	750	—	27.19

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	30,563,199株	24年3月期	30,563,199株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,900,217株	24年3月期	2,974,748株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	27,626,561株	24年3月期2Q	28,163,143株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、かつ様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10
(1) 主力品の売上高	10
(2) 臨床開発状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興関連需要が堅調に推移し、企業収益が改善しつつあるも、設備投資等は緩やかな増加基調で推移いたしました。また、欧州債務問題等に伴う海外経済の減速等、先行き不透明な状況にあります。

医薬品業界におきましては、本年4月に業界平均6.00%の薬価基準引き下げが実施され、一般名処方加算等後発医療用医薬品の使用促進策が推し進められるなど医療費抑制の要請は強まり、また企業間競争の激化など、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、当期を最終年度とする中期経営計画「ASKA PLAN 2012」の方針に基づき、医薬品事業を中心に適正な医薬情報活動を推進し、震災（放射線による風評被害を含む）により影響を受けた市場の回復に努めました結果、売上高は201億3千8百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

医療用医薬品分野では、新製品として消化性潰瘍・胃炎治療剤「アルタット細粒」および甲状腺ホルモン剤「チラーゼンS錠」の新規格ならびに後発医療用医薬品3品目を上市し、売上高は181億8千7百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

動物用医薬品分野では、承継した畜水産事業の統合をさらに推進し、繁殖と栄養の組み合わせにより相乗効果の発揮に努めました結果、売上高は18億2千3百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

そのほか、検査、医療機器、食品等の売上高は1億2千7百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

利益面では、販売費及び一般管理費の削減および下期へのずれ込み等により、営業利益6億3千7百万円（前年同期比48.1%増）、経常利益7億7千2百万円（前年同期比39.1%増）とそれぞれ増益となりました。また、福島県より震災関連の復旧整備補助金の交付を受けたことにより、特別利益として3億5千9百万円計上し、四半期純利益につきましても7億4千万円（前年同期は8千4百万円の四半期純利益）と増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億9百万円増加し、501億3千6百万円となりました。これは主に有価証券等が増加したためであります。

負債につきましては、3億3千3百万円増加し、178億4千万円となりました。これは支払手形及び買掛金等は減少しましたが未払法人税等が増加したためであります。

純資産につきましては、4億7千6百万円増加し、322億9千5百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したためであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.1ポイント低下し64.4%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ19億4百万円増加し、59億7千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、28億7千8百万円（前年同期は2億2百万円の減少）となりました。これは税金等調整前四半期純利益の増加及び減価償却費等の非資金項目の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、7億9千万円（前年同期は4億6百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得資金として使用したためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、1億8千4百万円（前年同期は44億7百万円の減少）となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、平成24年5月14日の決算発表時の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,873	4,578
受取手形及び売掛金	8,629	8,174
有価証券	195	1,394
商品及び製品	7,294	7,327
仕掛品	1,144	1,103
原材料及び貯蔵品	1,755	1,732
その他	1,319	1,525
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,210	25,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,072	4,906
その他（純額）	7,499	7,204
有形固定資産合計	12,571	12,110
無形固定資産		
投資その他の資産	2,138	1,780
投資有価証券	5,014	4,853
その他	5,465	5,636
貸倒引当金	△122	△122
投資その他の資産合計	10,357	10,367
固定資産合計	25,067	24,258
繰延資産	47	40
資産合計	49,326	50,136
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,356	4,982
短期借入金	108	108
未払法人税等	59	842
賞与引当金	997	1,017
その他の引当金	219	208
その他	2,387	2,298
流動負債合計	9,129	9,458
固定負債		
長期借入金	1,232	1,203
退職給付引当金	6,325	6,503
その他の引当金	312	329
その他	508	345
固定負債合計	8,378	8,382
負債合計	17,507	17,840

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	32,273	32,820
自己株式	△2,595	△2,558
株主資本合計	31,720	32,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88	△21
その他の包括利益累計額合計	88	△21
少数株主持分	9	11
純資産合計	31,818	32,295
負債純資産合計	49,326	50,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	19,990	20,138
売上原価	11,026	11,326
売上総利益	8,964	8,811
返品調整引当金繰入額	△1	2
差引売上総利益	8,966	8,809
販売費及び一般管理費	8,535	8,171
営業利益	430	637
営業外収益		
受取利息	6	0
受取配当金	67	62
不動産賃貸料	110	103
その他	24	16
営業外収益合計	209	182
営業外費用		
支払利息	20	3
固定資産処分損	0	14
不動産賃貸費用	32	16
その他	31	12
営業外費用合計	85	47
経常利益	555	772
特別利益		
補助金収入	—	359
特別利益合計	—	359
特別損失		
災害による損失	40	—
投資有価証券評価損	72	—
特別損失合計	113	—
税金等調整前四半期純利益	441	1,132
法人税、住民税及び事業税	15	792
法人税等調整額	341	△403
法人税等合計	357	389
少数株主損益調整前四半期純利益	84	742
少数株主利益	—	2
四半期純利益	84	740

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	84	742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△110
繰延ヘッジ損益	6	—
その他の包括利益合計	15	△110
四半期包括利益	99	632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99	630
少数株主に係る四半期包括利益	—	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	441	1,132
減価償却費	1,269	1,153
投資有価証券評価損益(△は益)	72	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	109	175
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27	19
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△672	—
受取利息及び受取配当金	△74	△63
支払利息	20	3
補助金収入	—	△359
売上債権の増減額(△は増加)	3,075	454
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,377	29
仕入債務の増減額(△は減少)	△409	△410
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額(△は減少)	△163	△163
その他	1	515
小計	1,266	2,488
利息及び配当金の受取額	78	63
利息の支払額	△20	△4
補助金の受取額	—	359
災害損失の支払額	△758	△1
法人税等の支払額	△768	△26
営業活動によるキャッシュ・フロー	△202	2,878
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△347	△647
無形固定資産の取得による支出	△157	△55
その他	98	△87
投資活動によるキャッシュ・フロー	△406	△790
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△3,010	—
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,200	△29
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	37
配当金の支払額	△197	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,407	△184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,017	1,904
現金及び現金同等物の期首残高	11,090	4,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,073	5,973

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループの報告セグメントは「医薬品事業」のみであるため、記載を省略しております。

4. 補足情報

(1) 主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高
(平成25年3月期 第2四半期実績)

(単位:億円)

品 目 名	前 期 平成24年3月期		当 期 平成25年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第2四半期 実績	年間実績	第2四半期 実績	年間見込	
経皮吸収型鎮痛消炎剤 セルタッチ	40.8	69.1	28.9	56.5	△ 29.0
甲状腺ホルモン剤 チラーゼン	23.1	47.4	24.0	46.1	3.8
高脂血症治療剤 リピディル	21.5	48.4	18.6	46.5	△ 13.6
前立腺肥大症・癌治療剤 プロスタール	12.4	21.5	10.3	22.0	△ 16.7
前立腺癌治療剤 ビカルタミド	9.7	19.4	9.4	21.2	△ 3.2
高血圧治療剤 アムロジピン	6.9	14.4	8.8	18.2	28.1
消化性潰瘍・胃炎治療剤 アルタット	9.2	17.0	8.5	18.2	△ 7.4
経口避妊剤 アンジュ	5.9	12.1	6.0	14.2	2.3
緊急避妊剤 ノルレボ	1.8	3.8	2.3	7.8	29.5

(2) 臨床開発状況

臨床開発状況

(平成24年11月現在)

平成24年11月5日
あすか製薬株式会社
東証市場第一部
コード番号 4514

区 分	品 名 (開発番号)	物 質 名 (一 般 名)	領 域・効 能	備 考
承認 (2012年1月23日付)	(AKP-004)	アルタット細粒20%	剤形追加	自社開発 2012年7月発売
Phase II	(GPD-1116)	PDE1/4阻害剤	慢性閉塞性肺疾患及び気管 支喘息	自社開発
Phase II・III	(L-105)	リファマイシン系の難吸収性抗生物質	肝性脳症 過敏性腸症候群(IBS) クローン病(CD)	Alfa Wassermann SpA(伊 国)より導入
Phase I	(AKP-002)	PDE9阻害剤	前立腺肥大症に伴う排尿障 害等	自社開発 (アステラス製薬㈱へ導出)
Phase I	(AKP-001)	p38MAPK阻害剤	炎症性腸疾患	自社開発
Phase I	(AKP-501)	遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン (rFSH)	不妊症	日本ケミカルリサーチ㈱からの 導入及び共同開発
Phase I	(CDB-2914)	選択的プロゲステロン受容体調節剤	子宮筋腫 緊急避妊	HRA Pharma社(フランス)より導 入
Phase I	(AKP-008)	黄体ホルモン(プロゲステロン)剤	IVF-ETにおける黄体補充 (坐剤)	自社開発